





レシップホールディングス株式会社(証券コード:7213)

2014年3月期 決算説明資料

	企業情報	P 1 - 9
	14年3月期の実績	P 10- 18
	15年3月期の見通し	P 19
	中期計画の進捗状況	P 20- 29

1. 企業情報



会社名	: レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	: 1953年3月
代表者	: 代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	: 岐阜県本巣市上保1260番地の2
連結従業員数	: 478名(国内458名、海外20名)
資本金	: 7億3,564万円
発行済株式総数	: 12,798,200株
上場証券取引所	: 東証1部、名証1部
証券コード	: 7213
連結子会社	: 8社(国内5社、海外3社)

14/3期 連結売上高:14,516 百万円



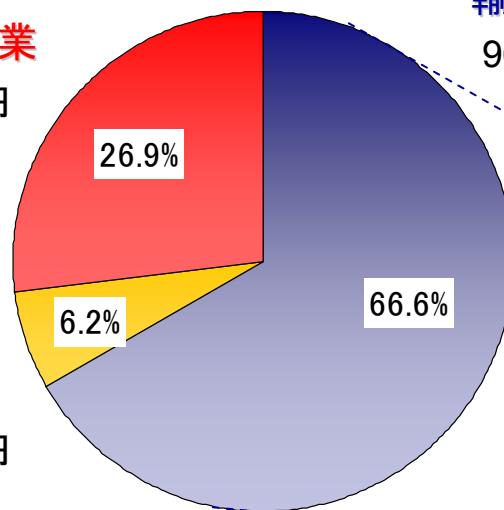
産業機器事業

39億6百万円



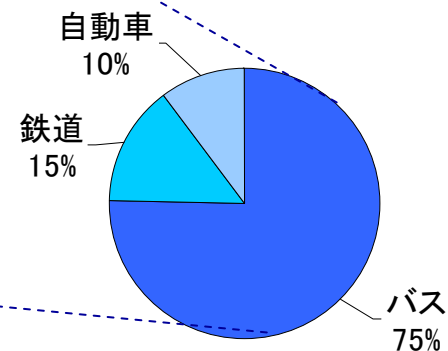
S&D事業

8億93百万円



運輸機器事業

96億72百万円



運輸機器事業の内訳

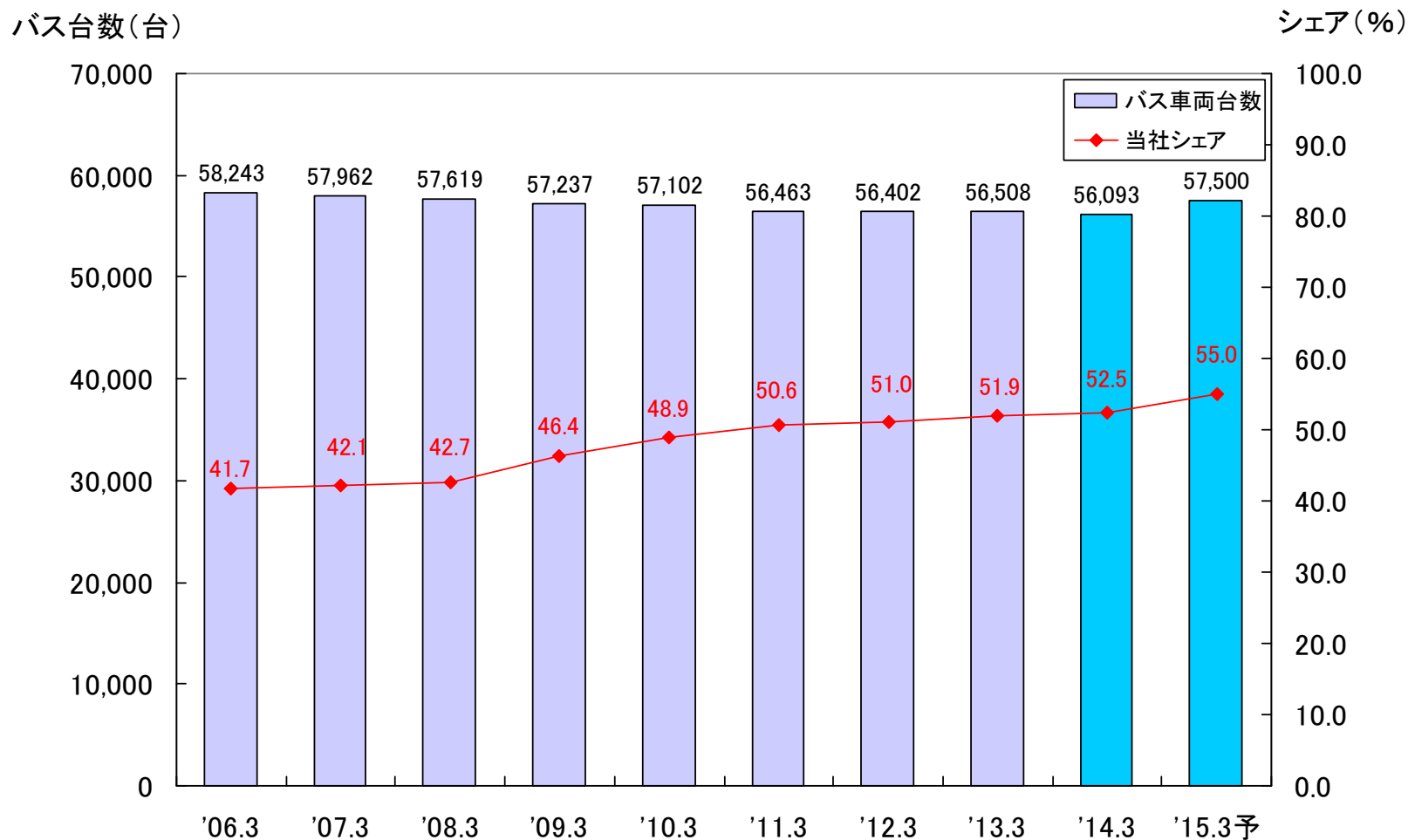
(ご参考)主力製品のシェア表

(単位:%)

			10年3月期 期末	11年3月期 期末	12年3月期 期末	13年3月期 期末	14年3月期 期末
輸送機器	バス	(バス用)運賃箱	48.9%	50.6%	51.0%	51.9%	52.5%
		ICカードシステム	52.2%	55.8%	56.2%	57.4%	58.3%
		液晶表示器	69.9%	71.1%	74.1%	73.1%	69.4%
		LED行先表示器	42.3%	40.8%	41.6%	41.4%	40.9%
	鉄道	(鉄道用)運賃箱	91.3%	91.0%	91.0%	91.2%	91.2%
		(鉄道用)車両用蛍光灯具	34.8%	32.3%	34.8%	29.1%	19.4%
	自動車	トラック用蛍光灯具	83.9%	85.9%	84.8%	85.0%	84.8%
S&D		巻線式ネオン変圧器	65.0%	76.0%	79.1%	90.1%	95.3%
産業機器		バッテリー式フォークリフト用充電器	59.5%	55.2%	56.3%	57.4%	56.3%

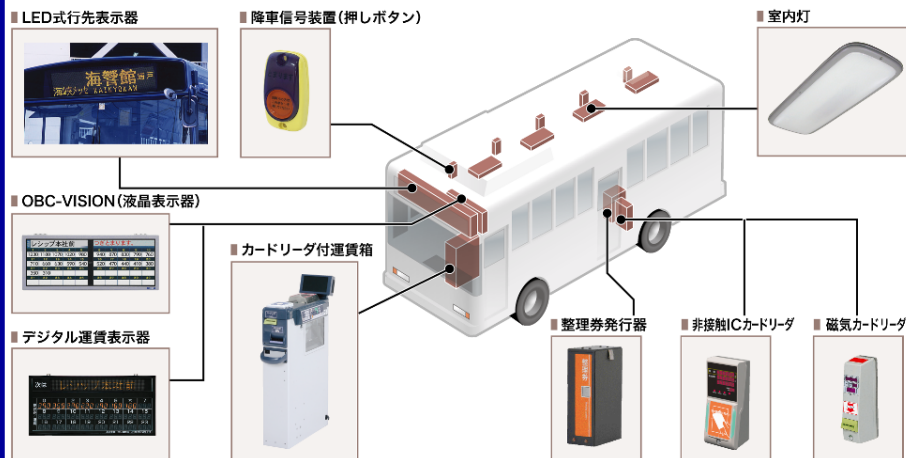
* 当社調べ

(ご参考)国内の路線バス台数と当社の運賃箱のシェア



== 輸送機器事業 ==

バス市場向け製品



- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

TMS・運行管理システム



鉄道市場向け製品



ワンマン鉄道用
運賃箱

車両用照明灯具

- ワンマン鉄道用機器と、車両用照明灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

自動車市場向け製品



自動車用照明灯具(車内・荷室内照明用)

- 自動車用蛍光灯具のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進

== 産業機器事業 ==

エコ照明 & 高電圧

* 旧S&D製品



LED電源と蛍光灯型LED灯具



ネオン変圧器

電源ソリューション



フォークリフト用充電器



無停電電源装置

- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- 屋外用無停電電源装置(UPS)を多用途展開

S&D事業を産業機器事業に含めることに関する
セグメント分類見直しの背景

(理由1)

旧S&D事業が、従来のトランスと絶縁技術をコア技術とする製品作りから、LED電源に代表される半導体を利用したインバータ技術中心の製品作りへと重心が移りつつあり、産業機器事業と共通点が多い

(理由2)

今後の重点分野として、サイン・照明市場から、産業機器分野を中心としたビジネス展開にシフトしていきたい

EMS



プリント基板実装ライン

レシップ電子株式会社にて、プリント基板の実装ラインを10ライン保有

(ご参考) 主な経営指標の推移

(単位:百万円)

	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期 予想
売上高	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480	14,516	20,000
営業利益	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	493	477	336	500
営業利益率 (%)	(6.3)	(6.8)	(6.7)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)	(2.3)	(2.5)
経常利益	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	514	526	349	500
経常利益率 (%)	(6.3)	(6.8)	(6.5)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)	(2.4)	(2.5)
当期純利益	622	668	686	521	41	46	132	292	71	200
当期純利益率 (%)	(3.6)	(3.8)	(3.7)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)	(0.5)	(1.0)
総資産	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791	12,476	-
純資産	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755	4,788	-
自己資本比率 (%)	37.1	38.2	43.5	51.2	50.3	54.4	51.3	48.6	38.4	-
EPS(円)※	96.29	104.68	107.38	81.61	6.55	7.34	20.80	46.85	6.55	18.30
ROE (%)	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8	1.5	-
BPS(円)※	599.65	689.82	781.66	835.49	827.65	825.60	830.76	877.37	438.17	-

※2014年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

14年3月期の1株当たり情報は分割後の株式数をもとに算定しております。

2. 14年3月期の実績

14年3月期 通期実績

連結P/L 前年比較・見通し比較

- 【前期比較】
- ・輸送機器事業で、海外向けが大きく伸張した他、国内でも消費税対応による上積みにより増収
 - ・利益面では、海外案件のプロジェクト管理費(海外子会社での販売管理費)などが増加し減益

- 【見通し比較】
- ・主に北米での納入の期ズレにより売上減、利益も併せて減

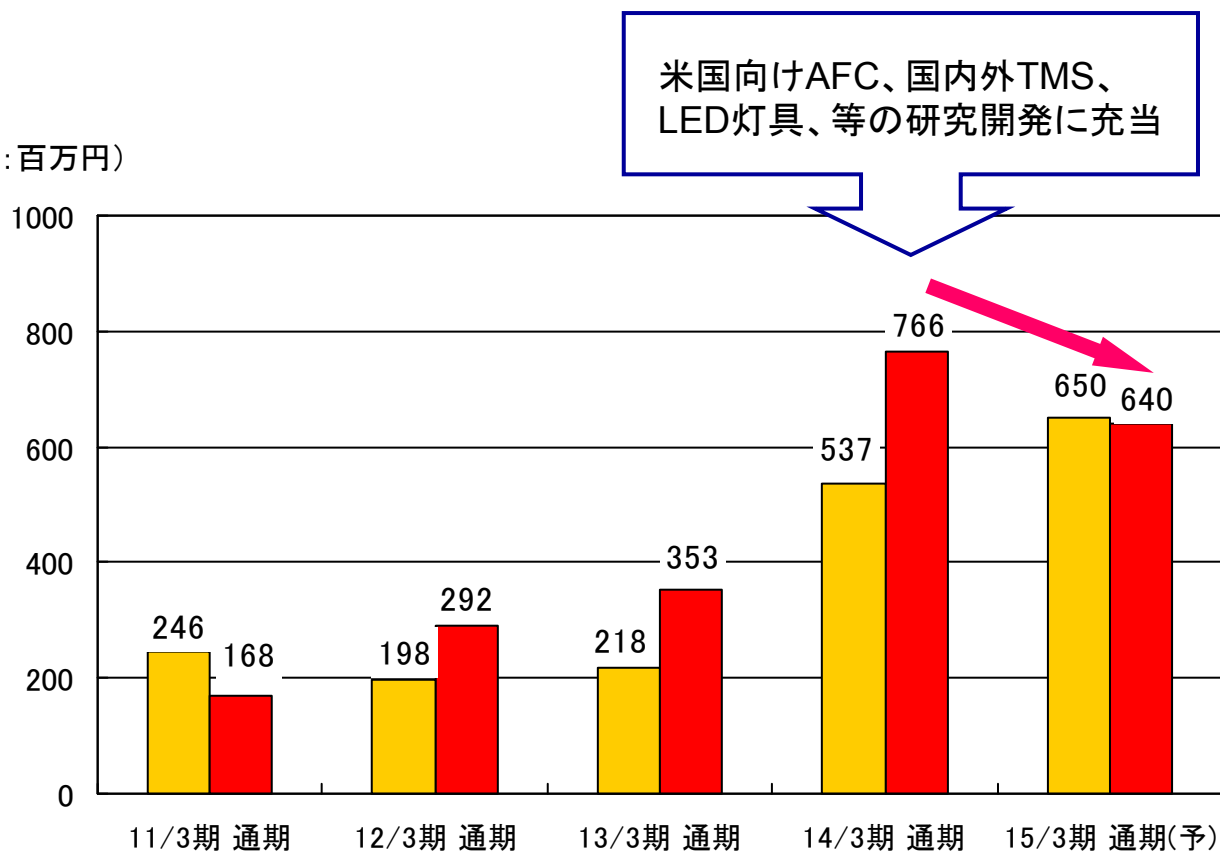
【単位:百万円】	前期実績	14年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	率
売上高	13,480	14,516	+1,036	7.7%
売上原価	10,264	10,906	+642	6.3%
売上総利益	3,215	3,609	+393	12.2%
販売管理費	2,738	3,272	+534	19.5%
営業利益	477	336	-140	-29.5%
経常利益	526	349	-177	-33.7%
税引き前利益	526	340	-186	-35.4%
当期純利益	292	71	-221	-75.6%
一株当たり利益	23.43	6.55	-16.88	-75.6%
為替レート(US\$)	83.32	100.49	+17.17	20.6%

14年3月期 当初見通	見通し比較	
	増減額	率
15,100	-583	-3.9%
380	-43	-11.4%
400	-50	-12.7%
230	-158	-69.0%
21.22	-14.67	-69.0%
95.00	+5.49	+5.8%

14年3月期 通期実績

設備投資、研究開発費

(単位:百万円)



H27.3期は減少見通しも、高い水準は続く



14年3月期 通期実績

事業セグメント別収支

(単位:百万円)

【売上高】	13/3期	14/3期	前期比	
			増減	率
輸送機器	8,397	9,672	+1274	+15.2%
バス	6,326	7,271	+944	+14.9%
鉄道	1,306	1,402	+96	+7.4%
自動車	764	998	+233	+30.5%
S&D	1,272	893	-379	-29.8%
産業機器	3,764	3,906	+141	3.7%
その他	44	44	±0	-0.1%
(全社消去)	-	-	-	-
合計	13,480	14,516	+1,036	+7.7%

(単位:百万円)

【営業利益】	13/3期	14/3期	前期比	
			増減	率
輸送機器	476	293	-183	-38.5%
バス				
鉄道				
自動車				
S&D	-66	-11	+55	-
産業機器	116	115	-0.9	-0.8%
その他	0.4	-3	-4	-850.5%
(全社消去)	-50	-57	-7	14.1%
合計	477	336	-140	-29.5%

14年3月期 通期実績

セグメント別実績 輸送機器事業

■ 売上高 : 前期比 +1,274百万円

■ 営業利益 : 前期比 ▲ 183百万円

売上面

バス市場	6,326百万円	→	7,271百万円(+944)
鉄道市場	1,306百万円	→	1,402百万円(+ 96)
自動車市場	764百万円	→	998百万円(+233)

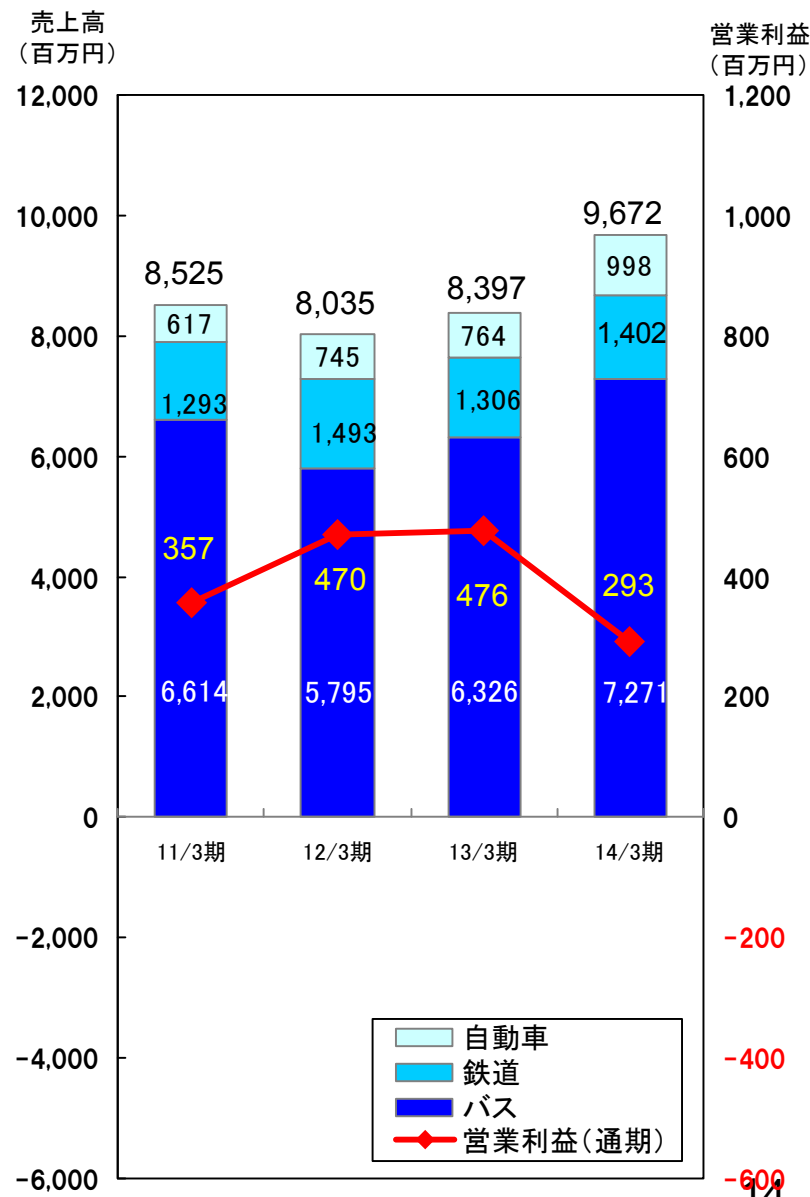
(バス) 主に海外売上の増加+増税対応、が増収に寄与

(鉄道) ワンマン機器+増税対応、が増収に寄与

(自動車) 海外向け灯具、が増収に寄与

利益面

- ①国内外AFC・TMSの、プロトタイプ・量産品の開発
- ②国内外の受注済み案件に対するプロジェクト管理コストの増加により減益



14年3月期 通期実績

セグメント別実績 S&D事業

■ 売上高 : 前期比 ▲379百万円

■ 営業利益 : 前期比 + 55百万円

売上面

エコ照明	731百万円	→	354百万円(▲377)
高電圧	540百万円	→	537百万円(▲ 3)

* エコ照明 = LED電源 + 蛍光灯型LED + 電子バラスト

* 高電圧 = ネオン変圧器、点火トランス等の特殊変圧器

(エコ照明)

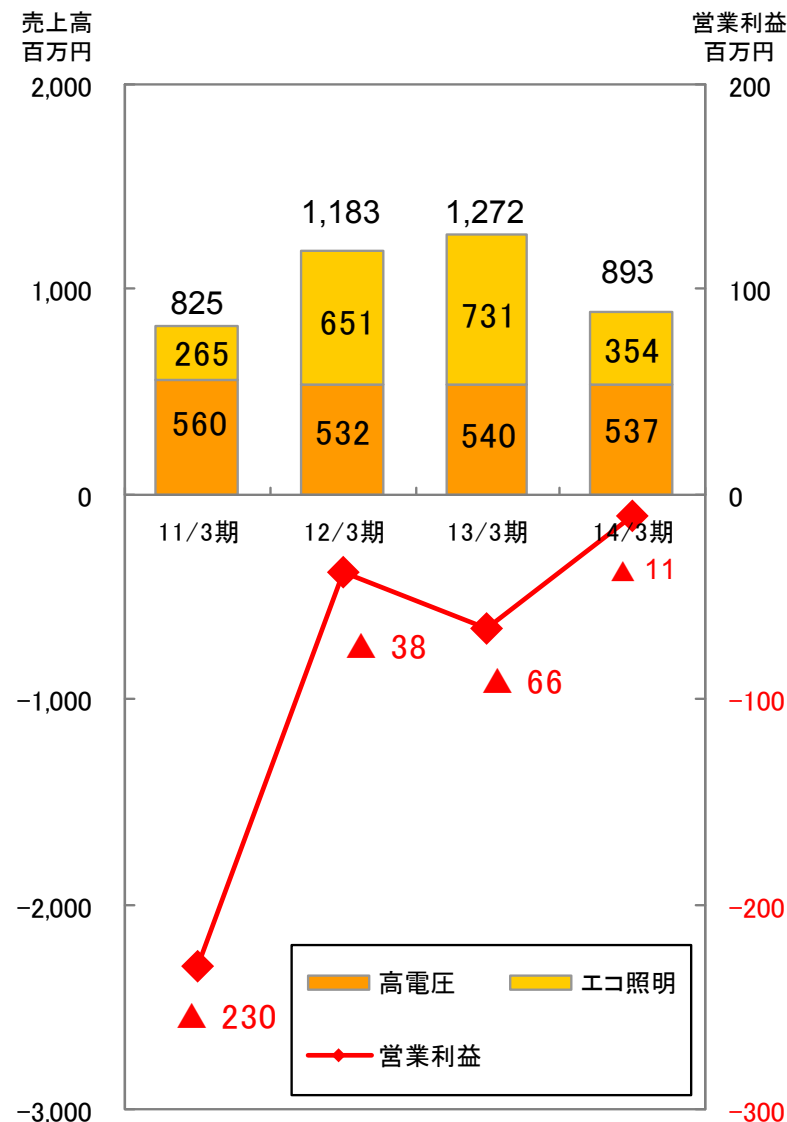
LED電源が、販売方針の変更により、採算の厳しい一般照明市場から特殊市場へターゲットをシフト

(高電圧製品)

高いシェアをベースに、安定的な収益を維持

利益面

LED製品の販売方針変更により、赤字圧縮



14年3月期 通期実績

セグメント別実績 産業機器事業

■ 売上高 : 前期比 + 141百万円

■ 営業利益 : 前期比 ▲ 0.9百万円

売上面

電源	1,973百万円	→	2,283百万円(+310)
EMS	1,791百万円	→	1,622百万円(▲168)

(電源)

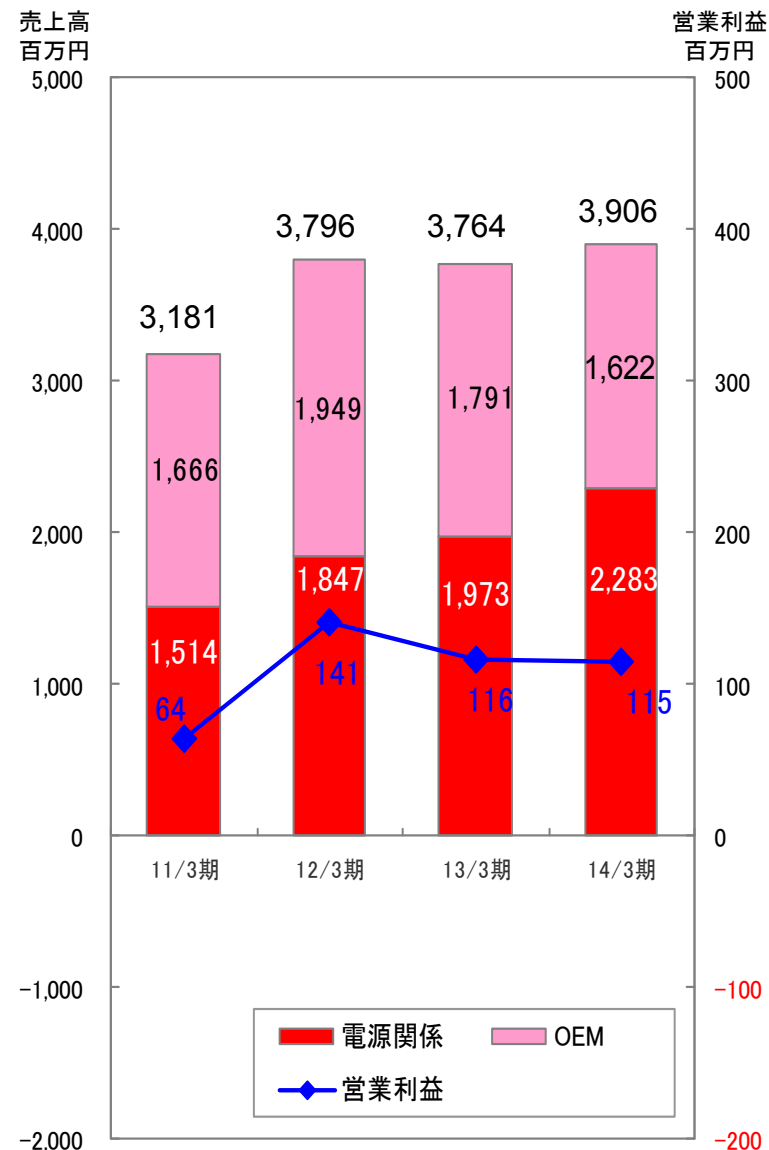
PHS基地局向け電源の減収も、ケーブルテレビ用無停電電源装置や、物販IC読み取り端末でカバー

(EMS)

中国FA市場の減退により、産機向けインバータ基板が減収

利益面

為替の円安によるコストUPも、充電器の国内移管及び商品構成の改善によりカバー



14年3月期 通期実績

(ご参考) BS 明細

(単位:百万円)		13/3末	14/3末	差異
資産	現金及び預金	704	368	-335
	受取手形及び売掛金	4,760	5,491	+731
	棚卸資産	1,446	2,315	+869
	その他	717	1,062	+344
	流動資産 計	7,628	9,238	+1,609
	有形固定資産	1,403	1,416	+13
	無形固定資産	176	1,107	+930
	投資その他の資産	582	713	+131
	固定資産 計	2,163	3,238	+1,075
	資産の部	9,791	12,476	+2,684
負債	支払手形及び買掛金	2,183	2,960	+777
	借入金	976	2,350	+1,374
	その他	1,448	1,758	+310
	流動負債 計	4,607	7,069	+2,462
	固定負債 計	428	617	+189
負債の部	5,035	7,687	+2,651	
純資産の部	4,755	4,788	+33	
負債・純資産合計	9,791	12,476	+2,684	

公営交通様など翌期入金の売上増加(14年5月までには例年の水準に戻る予定)

前期から今期にかけて納入している国内外案件の在庫を計上

- ① 13年8月に買収したスウェーデン子会社の「のれん」
- ② 国内AFCのソフトウェアの計上

14年3月期 通期実績

(ご参考) キャッシュフロー

(単位:百万円)		13/3末	14/3末
税引等調整前当期純利益		526	340
売上債権の増減		△29	△748
たな卸資産の増減		49	△842
仕入債務の増減		△643	714
その他		345	△41
営業活動によるキャッシュフロー		248	△576
有形資産の取得・売却		△63	△175
無形資産の取得・売却		△93	△233
投資有価証券の取得・売却		34	△59
子会社株式の取得		-	△593
その他		△15	9
投資活動によるキャッシュフロー		△138	△1,052
短・長期借入金の増減		467	1,382
自己株式の取得・売却		△757	34
配当金、その他		△126	△127
現金及び現金同等物に係る換算差額		7	4
現金及び現金同等物の増減額		△298	△335
現金及び現金同等物の期首残高		947	649
〃 期末残高		649	313

公営交通様など翌期入金の上増加（14年5月までには例年の水準に戻る予定）

前期から今期にかけて納入している国内外案件の在庫を計上

13年8月に買収したスウェーデン子会社の「のれん」

スウェーデン子会社の買収資金（=のれん）、及び売上債権の増加による一時的な運転資金増

連結P/L見通し

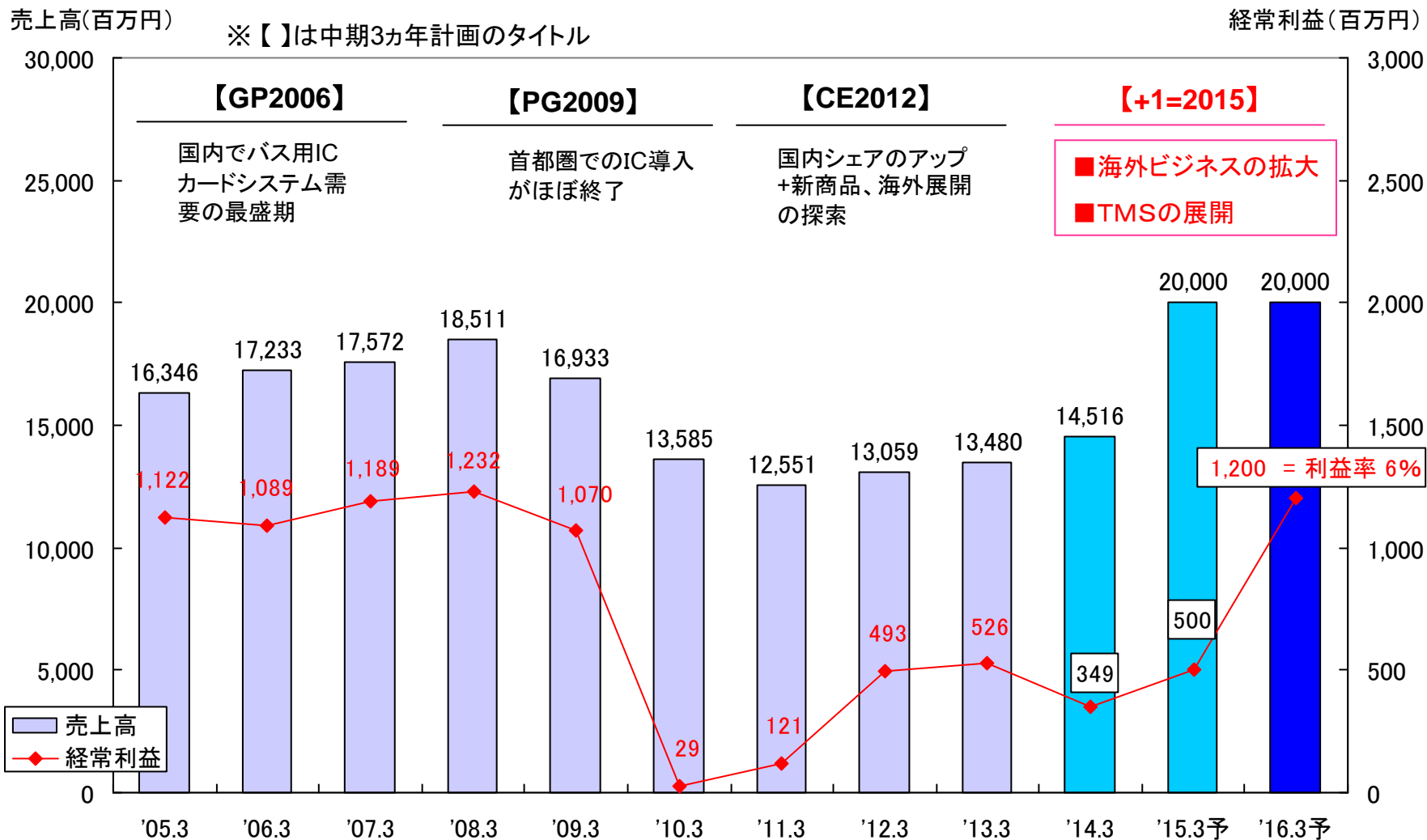
- 【前期比較】
- ・輸送機器事業で、国内・海外それぞれのバス市場向けで、複数の大型AFC案件の納入を控えている
 - ・産業機器事業で、通信基地局向けで無停電電源装置の大型案件の納入を控えている
- 【見通し比較】
- ・輸送機器事業で、海外ビジネスに対してさらなる人的投資が必要+国内でも採算の厳しい高機能運賃箱の納入を控えている

【単位：百万円】	14/3期 実績	15/3期 見通し	前期比	
			増減額	率
売上高	14,516	20,000	+5,483	37.8%
営業利益	336	500	+163	48.8%
経常利益	349	500	+150	43.3%
当期純利益	71	200	+128	181.7%
一株当たり利益	6.55	18.30	+11.75	179.4%
為替レート(US\$)	100.49	105.00	+4.51	4.5%

3. 中期経営計画 +1=2015(プラスワン2015)の進捗

中期経営計画+1=2015(プラスワン2015)の進捗

業績推移



中期経営計画+1=2015(プラスワン2015)の進捗

海外の活動拠点

2013年8月買収



SWEDEN
LECIP ARCONTIA AB

SLOVENIA
LECIP ITS d.o.o.

2012年12月設立



2013年10月設立



JAPAN

レシップホールディングス株式会社

THAILAND
LECIP THAI CO., LTD.

SINGAPORE
LECIP (SINGAPORE) PTE LTD

2012年12月設立



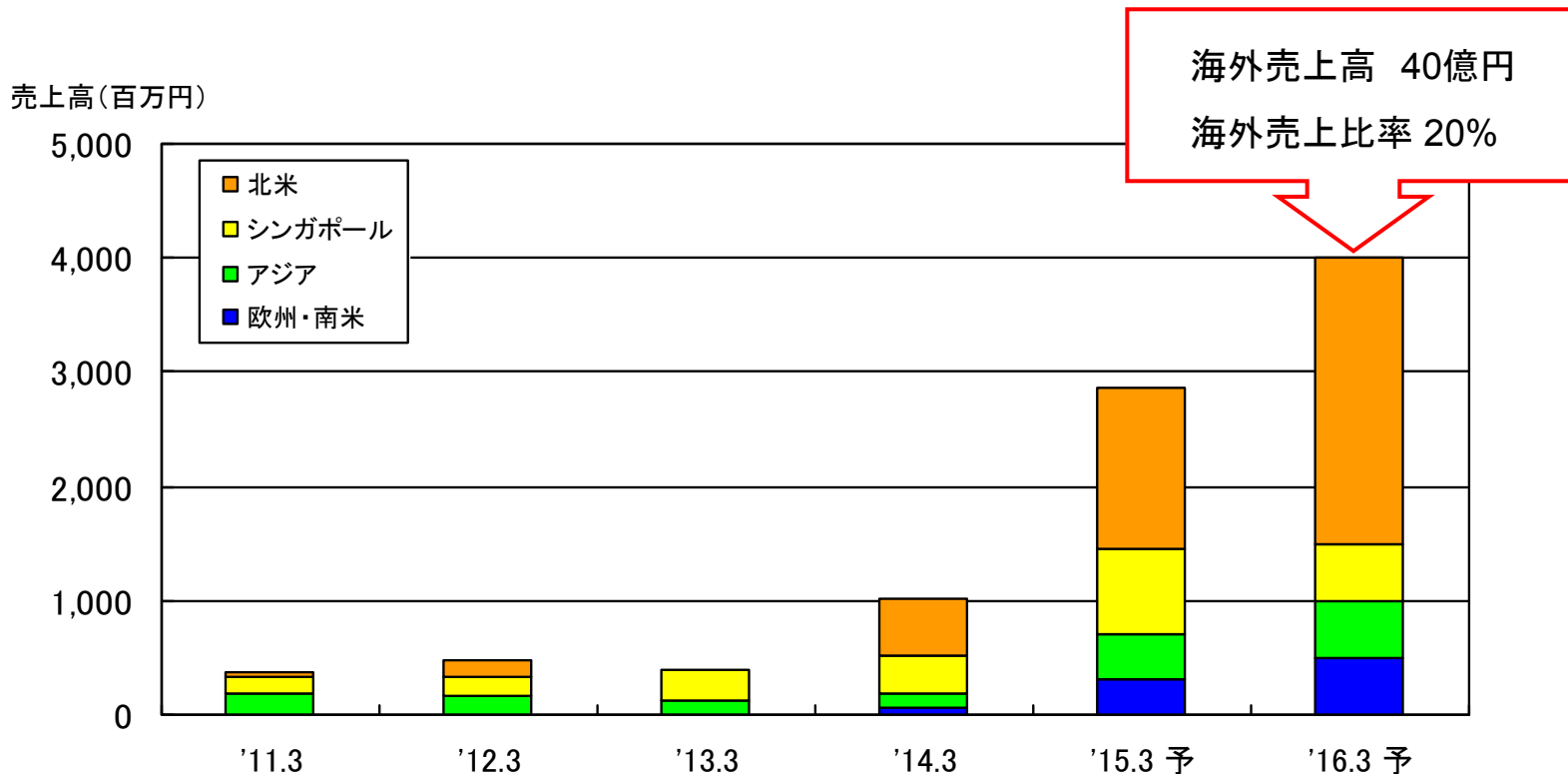
2010年3月設立



USA
LECIP INC.

中期経営計画+1=2015(プラスワン2015)の進捗

海外売上推移



連結売上高	12,551	13,059	13,480	14,516	20,000	20,000
海外売上	375	485	403	1,025	2,882	4,000
海外売上比率	3.0%	3.7%	3.0%	7.1%	14.4%	20.0%

中期経営計画+1=2015(プラスワン2015)の進捗

海外(北米市場)

市場規模

路線バス 約81,000台(日本は約56,000台)

当社実績

- ・2008年より本格参入(米国公共交通協会主催の展示会に初出展)
- ・2012年に日本企業として初めてAFCを一括落札
- ・2013年以降も積極的にBID対応を進める



納入先	金額	受注確定	納入時期
カリフォルニア州サンタモニカ市交通局	US\$約8.1M	2012年7月	2014年3月~9月
ケンタッキー州・リバーシティ交通局	US\$約4.1M	2012年9月	2014年冬頃
ワシントン州・クラーク郡交通局	US\$約3.2M	2013年12月	2014年冬頃
その他にも複数案件に対して入札対応中...			

入札での3つの評価ポイント「価格」「技術」そして「実績」(今までは実績点が不足していた)、
そのすべてをクリアしたことで、今後、更なる拡販が望める

中期経営計画+1=2015(プラスワン2015)の進捗

海外(シンガポール市場)

市場規模

路線バス 約4,000台(日本は約56,000台)
(さらに800台の増産計画あり)

当社実績

- ◆ シンガポール市場へは30年以上の納入実績
- ◆ 運賃箱、発券機のシェア100 %
- ◆ その他、LED行先表示器、LED灯具の納入実績もあり
- ◆ TMSの2案件を受注し、今期中に納入予定

・LTA(Land Transport Authority)向けトランスミッター案件

phase 1(SGD約2M、500台)を13年12月までに納入完了 → phase 2(4,500台)への移行決定

・SMRT社向けエコドライブシステム案件



シンガポールにある2つのバス事業者様のうちのひとつ、SBS Transit 様のバス

TMS案件の代替えに絡み、今後も様々な需要が見込まれる

TMSの展開



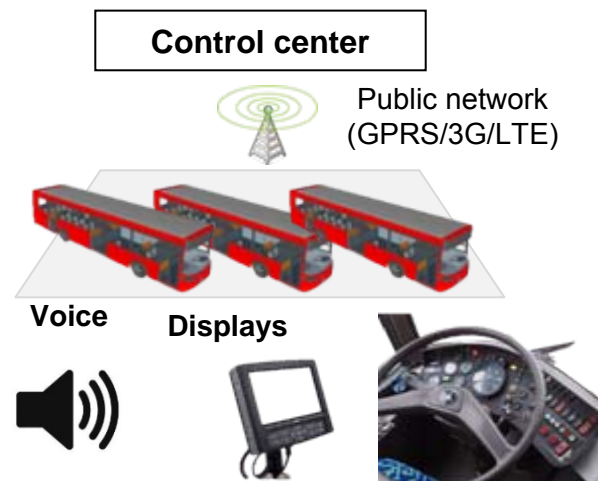
中期経営計画+1=2015(プラスワン2015)の進捗

TMSの展開(納入実績)

■ バスロケーションシステムを活用した近接表示



■ VOIPやナビゲーション等による乗務員支援



■ 車内の液晶表示器を活用したデジタルサイネージ



■ 車両管理(フリートマネジメント)

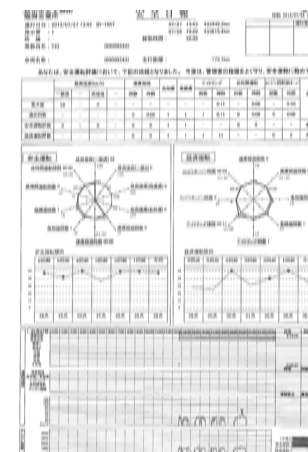
1. 業務日報

2. 運転評価

- ・ブレーキ、急発進
- ・アイドリング時間
- ・スピード、など

3. 車両管理

- ・クラクション回数
- ・ハザードランプの使用回数
など



4. 株主施策

株主施策

配当方針、等

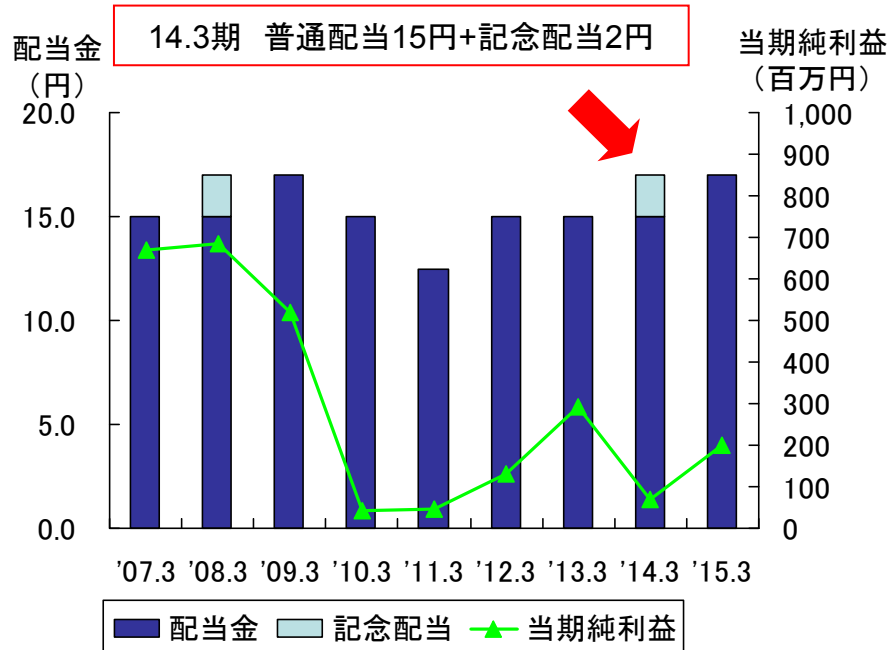
■ H26.3期 普通配当 15 円 + 記念配当 2 円

■ H27.3期 普通配当 17 円

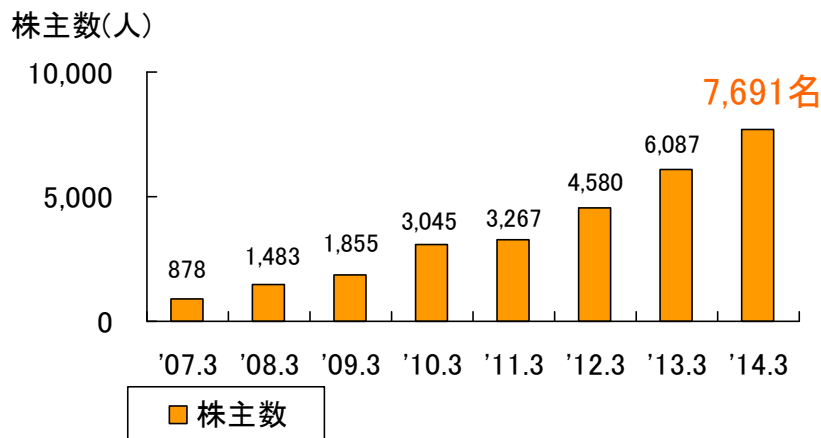
(H27.3期は、4月1日に1:2の株式分割を行っておりますので、実際は8.5円になります)

1年間の主なトピック

- ・13.09.17 立ち会い外分売を実施
- ・13.10.15 当社株式が貸借銘柄に選定
- ・14.02.12 東証・名証 市場第1部に指定替え
- ・14.04.01 1:2の株式分割を実施



優待: 地元岐阜県本巢市の富有柿(2000円相当)



LECIP GROUP

【資料お問合せ先】

レシップホールディングス株式会社

経営企画室

電話番号 : (058) 323-7647

(将来予測について)

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。